

アースサイエンスウィーク・ジャパン 2023 Nagano&Shizuoka 実施報告

1. 概要：

AGI (American Geoscience Institute) との連携の一環として、市民が地球科学や自然科学の理解を深めるため、講演会、展示、サイエンスカフェなどをはじめとするイベントを実施することで、惑星の進化を学び、地球環境史を認識する機会提供を行う。

2. 日時：2023年10月8日(日)～11/5日(日)

3. 実施体制

主催：アースサイエンスウィーク・ジャパン実行委員会

共催：公益社団法人日本地球惑星科学連合 (JpGU)

後援：American Geoscience Institute (AGI)

NPO 法人地学オリンピック日本委員会

協力：静岡科学館 る・く・る

実施方法：長野&静岡で現地開催

4. 実施内容：

4-1. フィールド見学 信州は昔 海だった！

-地形から読み解く防災の知識-



案内人：田辺智隆（元戸隠地質化石博物館館長）

畠山正恒（聖光学院講師：JpGU 教育国際対応小委員会副委員長）

池田陽大（早稲田大学）

日時：2023 年 10 月 15 日（日）9:00～16:45

移動：貸し切りマイクロバス

参加人数：19 人（Google Form による申込）

案内人と JpGU 事務局白井を含むスタッフ：4 人 計：23 人

参加費：無料（保険料 100 円のみ現地徴収）

4 年前の千曲川決壊地点の見学や長野盆地の特徴的な地形を観察し、昔から人々がこの地でどのように暮らしてきたか、そして将来どのように暮らせばよいかの検討と考察を実施。

巡検のポイント。

① 長野盆地の東西での隆起量の違いが西側の扇状地地形を作り、東西の暮らし方を生んできたこと。

② 千曲川の川幅の変化が長沼での決壊を生んだこと。そして長沼には長い歴史があり、洪水を甘受してきたこと。それ以外にも、川と一緒に生きてきた人々が残した地形〈輪中〉があること。

③ 日本有数の大室古墳群の存在から、千曲川は災害だけではなく古代から多くの富ももたらしてきたこと。

見学地点： 地附山展望台、古里小学校、妙笑寺、立ヶ花（中野市）、牛島集落〈輪中〉、大室古墳群（集合解散 長野駅東口）

参加者からは、糸魚川静岡構造線形成の時代から明治時代のことまで質問が出て、案内人としてはひやひやしたが、楽しめた巡検であった。参加者からは少人数だったことも幸いし、非常に高い評価をいただいた。次回は「長野市で採取できる化石」「北信の火山」などを検討する予定。

4-2. 第11回 プロと楽しむお街ゼミな〜る ～商店街で化石発見ツアー～



開催場所：静岡市呉服町商店街一帯

案内人：山田和芳（早稲田大学・教授、JpGU 教育国際対応小委員会委員長）

日時：2023年10月22日（日）10:30-11:30 / 15:00-16:00

参加人数：各回15人

世話人：阿諏訪元成（静岡呉服町名店街・営業委員長）

池田陽大（早稲田大学・大学院生）白井佳代子（JpGU 事務局）

実施方法：静岡伊勢丹前から徒歩にて商店街を移動

静岡伊勢丹・静岡市役所・浮月楼の化石見学

参加者数：約30名（スタッフ含む）

静岡伊勢丹デパートの壁や床に使用されている大理石に残る化石（二枚貝、巻貝）の観察、静岡市役所本庁舎玄関に使用されている琉球石灰岩に残る化石（サンゴ、貝類、カニ等）、浮月楼ビルの基礎の使用されている泥岩に残るアンモナイト化石を観察して、化石の解説や、地球史についての講座をおこなった。

4-3. 博物館イベント SDGs ニューワールド「みずみずしい水」



開催場所：ふじのくに地球環境史ミュージアム

講演者：山田和芳（早稲田大学・教授）・島形徹大（早稲田大学・学部4年生）

スタッフ：池田陽大（早稲田大学・大学院生）、大久保友貴（早稲田大学・学部3年生）、白井佳代子（JpGU事務局）

日時：2023年11月3日（金）11:00-12:00 / 13:00-14:00

実施方法：現地

当日参加者：2回あわせて20名

水からSDGsを考えるをテーマにして、水が、環境・健康リスクの軸ではなく、持続可能なまちづくりの基礎をつくっていることを知るものとして実施。

水に様々なものを溶かす実験、軟水と硬水の違いを味覚を通じて感じる実験、食と水に関するクイズを通じて実施した。これらの体験を通じて、水を知ることは、地域やその文化を知ること。ひいては、地球環境と人のくらしの両立を実践できるものを理解することとして実施した。

4-4. る・く・る での科学茶房およびミニ展示

開催期間：2023年10月18日（火）-11月5日（日）

<実はすごい「土」のおはなし>

日時：2023年10月8日（日）13:00-15:00

開催場所：科学館8階 創作ルーム

講師：藤井一至さん（森林総合研究所）

人間の生活や人類の歴史にも大きく関わっています。日本各地、世界各地を飛び回る研究者に最新の「土」研究と「土」の魅力を森林総合研究所の藤井さんに語っていただきました。

<化石からわかること>

開催場所：科学館10階

開催方法：ガレージ展示



お街ゼミナールの化石ウォッチングとからめ、化石の科学を紹介するミニ展示が開催されました。

4-5. 地球をぶらり

ESWJ 後援 開催

2023年10月22日(日) 14:00 - 16:10

・「重力衛星からみた地球の温暖化」

講師 北海道大学理学研究院名誉教授(中国科学院上海天文台客員教授)

日置幸介 氏

・「小惑星リュウグウの石の声」

講師 東京大学 大学院理学系研究科 宇宙惑星科学機構教授 橘省吾 氏

申込みは約 80 名、当日のオンタイムでの参加は約 30 名。申込者に録画配信をした。

5. アースサイエンスウィーク・ジャパン期間中の地球惑星科学関連情報

瀧上先生からのご紹介で以下を HP 上でご紹介させていただきました。

・ 深田地質研究所一般公開

URL: https://fukadaken.or.jp/?page_id=7719

・ こども科学センター ハチラボ

10月22日(日) 午前 ハチラボワークショップ

担当 地学オリンピック日本委員会 講師 宮田先生(城西大学)

内容 化石

募集 小学5年生～中学3年生 18名

URL: <https://shibu-cul.jp/hachilabo>

・ 地質標本館 企画展

「生痕化石—地層に刻まれた生命の痕跡—」

https://www.gsj.jp/Muse/event/archives/202310_event.html

・ 神奈川県立生命の星・地球博物館

10/21, 22 先生のための地層と化石入門【先生対象】

10/22 あなたのパソコンで地形を見る【こちらは一般向け】

10/28 地質や地形を観察してみよう【小学生とその保護者向け】

https://nh.kanagawa-museum.jp/www/contents/1601097316122/simple/kouza_2023.pdf

・ 平塚市博物館

<https://hirahaku.jp/>